

【ポストコロナ 従業員の働き方・企業のあり方】特別調査 ご回答の手引き

この度は、東洋経済／第16回 CSR 調査(2020年)「ポストコロナ 従業員の働き方・企業のあり方」特別調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。ご回答に際しましては、調査票の注記に加え、本「ご回答の手引き」をご参照ください。

本調査は、企業による幅広い年齢層の人材活躍の機会提供、社員研修やキャリア形成を支援する取り組みに関する情報の収集、分析を目的として過去2回実施してきました「プラチナキャリア特別調査」を基に、新型コロナウイルスの影響によって見直しが迫られる、従業員の働き方・企業のあり方について新たな情報を収集し、分析をすることを目的としております。

設問で未記入・blank等の箇所がある場合には、「NA(未回答)」と処理させていただきますので、あらかじめご了承ください。

★回答対象について

本調査のご回答の主体は、特記のない限り、「本調査のお願い」をお送りいたしました**御社単体ベース**です(一部連結ベースでお願いする項目を除く)。ただし、グループで展開されている事業や制度等のうち、御社が主体・中心となっており行われている事業・制度等は対象といたします。

また、御社が**純粋持株会社である場合は**、その傘下において**主軸をなす特定の事業会社を本調査の対象**としてお答えください。その際は、調査票の冒頭の「御社名」記入欄の下に設けました「(本調査対象の)傘下会社名」欄に対象とした傘下会社名をご記入ください。

なお、上記に限らず、御社単体ベース以外でのご回答を希望される場合は、その旨を傘下会社名欄の下に設けました記入欄に明記してください。

★注記欄をご利用ください

設問に注記欄を設けている箇所がございます。ご回答の対象範囲や時点など特筆すべき要件がございましたら、注記欄に明記いただきますようお願いいたします。

★CSR 評価、CSR 企業ランキング、プラチナキャリア評価について

特別調査でご回答いただいた内容は今回の CSR 評価には使用いたしません。プラチナキャリア評価などには利用させていただく予定です(東洋経済新報社 財務・企業評価チームが担当いたします)。

★CSR 情報のご紹介について

ご回答いただいた内容は小社の各種媒体でご紹介させていただきます。『CSR 企業総覧』、『CSR 企業白書』、『週刊東洋経済』、東洋経済オンライン、電子書籍で行っております。ご案内は <http://www.toyokeizai.net/csr/> で行っております。

以下の設問はご回答時点の最新状況をお答えください。難しいようでしたら、別時点でも構いません。

Q1～Q3は新型コロナウイルスの緊急事態宣言下での御社の取り組みに関する設問です。

Q1： 緊急事態宣言期間中の在宅勤務制度について選択肢でお答えください。

また、「1. 以前から導入していた」、「2. 今回初めて制度として導入した」または「3. 制度はないが、一時的に利用可能にした」のいずれかを選択した場合は、その下の設問に進み、非常事態宣言中の御社の在宅勤務率（平均）について選択肢でお答えください。該当する選択肢がない場合は「8. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

次に、緊急事態宣言中に行った取り組みについて選択肢でお答えください。複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合は「9. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

次に、緊急事態宣言終了後の在宅勤務の状況について選択肢でお答えください。複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合は「4. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

次に、今回、在宅勤務を進めるにあたり導入した制度や取り組み等の内容を記述欄にご記入ください。字数は100字程度でお願いいたします。

Q2： 今後の在宅勤務拡大に向けた、社内制度や業務評価等の変更について選択肢でお答えください。

また、「1. 必要」または「3. 微調整で対応可能」を選択した場合は、その下の設問に進み、変更が必要と思われる内容について選択肢でお答えください。複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合は「5. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

さらに、すでに実施またはご検討中の変更点がございましたら、その内容を記述欄にご記入ください。字数は100字程度でお願いいたします。

Q3： 今回の新型コロナウイルス関連で生じた社会課題の解決に関する貢献について選択肢でお答えください。

また、「1. 行った」を選択した場合は、その下の設問に進み、行った内容について選択肢でお答えください。複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合は「5. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

次に、行った内容を金額換算されている場合は、その金額をそれぞれ該当するマスにご記入ください（年度をまたいでも合計金額でお答えください）。金額換算の定義は御社の定義で結構ですが、別紙「2. CSR全般・社会貢献・内部統制等編」のQ5でご回答いただく社会貢献活動支出額の算出基準と一致させてください。

次に、貢献された社会課題解決の具体的な内容を記述欄にご記入ください。字数は100字程度でお願いいたします。

Q4～Q8は幅広い年齢層の人材活躍の機会提供に関する設問です。

Q4： 複数のキャリアコースを設定するなど、いわゆる複線型人事制度の導入について選択肢でお答えください。

また、選択肢下の記述欄に、複数設定されているキャリアコースごとの違い（例えば、

東洋経済・第16回 CSR 調査(2020年) ご回答の手引き(特別調査)

勤務形態や処遇などを具体的にご記入ください。検討中の場合は、検討されている具体的な内容をご記入ください。

- Q5:** 若手社員の成長やスキルアップを目的とした取り組みについて選択肢でお答えください。複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合は「8. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。
- Q6:** 役職定年制の有無について選択肢でお答えください。該当する選択肢がない場合は「4. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。
また、「1. あり」を選択した場合は、その下の設問に進み、役職定年後の社員が主に従事する職種やポジションについて選択肢でお答えください。該当する選択肢がない場合は「4. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。
- Q7:** 正社員の定年（または正社員と同等の処遇を適用する上限年齢）について選択肢でお答えください。「1. 定年あり」を選択した場合は、具体的な年齢を（ ）内にご記入ください。
- Q8:** 定年後の就業機会の確保について選択肢でお答えください。複数回答が可能です。
また、「1. 定年の年齢引き上げ」または「3. 継続雇用制度（子会社・関連会社での継続雇用を含む）による雇用上限の引き上げ」を選択した場合は、すでに引き上げられた年齢、あるいは、検討されている引き上げ後の年齢を（ ）内にご記入ください。
複数の年齢を検討されている場合は、最大値をご記入ください。該当する選択肢がない場合は「9. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

Q9～Q11は勤務制度に関する設問です。

- Q9:** 正社員を対象にしたテレワークの導入について選択肢でお答えください。
また、「1. 導入している」または「3. 試験的に導入／導入を検討中」を選択した場合は、その下の設問に進み、御社でテレワークを認められている条件（予定も含む）のうち、●場所（テレワークを行う場所）および●対象（テレワークを認められている対象となる正社員）の条件をそれぞれ選択肢でお答えください。
複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合、●場所であれば「5. その他」を、●対象であれば「4. その他」を、それぞれ選択して、御社の状況をそれぞれの（ ）内にご記入ください。
- Q10:** 非正規社員を対象にしたテレワークの導入について選択肢でお答えください。
また、「1. 導入している」または「3. 試験的に導入／導入を検討中」を選択した場合は、その下の設問に進み、御社でテレワークを認められている条件（予定も含む）のうち、●場所（テレワークを行う場所）および●対象（テレワークを認められている対象となる非正規社員）の条件をそれぞれ選択肢でお答えください。
複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合、●場所であれば「5. その他」を、●対象であれば「4. その他」を、それぞれ選択して、御社の状況をそれぞれの（ ）内にご記入ください。
- Q11:** 副業・兼業について選択肢でお答えください。
また、「1. 認めている」または「3. 検討中」を選択した場合は、その下の設問に進み、副業・兼業をする上での条件（検討中を含む）のうち、●業務範囲（認めている副業・兼業の業種や業務内容）および●時間・役職（認めている副業・兼業の時間または対象者の役職や勤続期間）の条件を選択肢でそれぞれお答えください。複数回答が可能です。

東洋経済・第16回 CSR 調査(2020年) ご回答の手引き(特別調査)

です。

さらに、●時間・役職について「3. 一定の役職以上」、「4. 一定の年齢層のみ」、または「5. 一定の勤続期間に該当する社員」を選択した場合、それぞれの()内に具体的な役職、年齢、または勤続期間をご記入ください。

Q12～Q13 は中途採用・転職に関する設問です。

- Q12:** 中途採用(除く転籍)の状況について、対象期間(2019年4月～2020年3月)に中途入社した社員の年代別の採用実績数をご記入ください。具体的な人数が不明、または人数を非開示の場合は、採用実績のある年齢欄のチェックボックスに✓をご記入ください。
- Q13:** 転職を理由に退職された元社員の採用制度および実績の有無について選択肢でお答えください。

Q14～Q18 はキャリア形成の支援に関する設問です。

- Q14:** 社員に対する、モデルとなるキャリアパスまたはキャリアマップの提示状況について選択肢でお答えください。該当する選択肢がない場合は「4. その他」を選択して、御社の状況を()内にご記入ください。
- Q15:** キャリア研修(※除く役職研修)の実施状況について選択肢でお答えください。ただし、役職に関わる研修は除いてください。 該当する選択肢がない場合は「4. その他」を選択して、御社の実施状況を()内にご記入ください。
また、「1. 実施している」または「3. 検討中」を選択した場合は、その下の設問に進み、50歳以上を対象にしたキャリア研修(※除く役職研修)の実施について選択肢でお答えください。該当する選択肢がない場合は「4. その他」を選択して、御社の実施状況を()内にご記入ください。
- Q16:** キャリア相談の実施状況について選択肢でお答えください。該当する選択肢がない場合は「5. その他」を選択して、御社の実施状況を()内にご記入ください。
また、「1. 定期的に実施している」または「2. 不定期に実施している」を選択した場合は、その下の設問に進み、社員のキャリア相談のご担当者について選択肢でお答えください。複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合は「5. その他」を選択して、御社の状況を()内にご記入ください。
- Q17:** 社内における、部署別の業務遂行に必要なスキルの開示状況について選択肢でお答えください。該当する選択肢がない場合は「3. その他」を選択して、御社の状況を()内にご記入ください。
- Q18:** 社員が現在就いている業務以外の新たな業務にチャレンジを希望する場合、それを支援する制度の有無について選択肢でお答えください。
※ここで想定しているのは、社員が現在所属する部門で追加的な業務を行うことではなく、社内 FA 制度のように他部門で新たな業務に従事する、または1から始めることなどです
また、「1. あり」を選択した場合は、その下の設問に進み、支援制度の内容について選択肢でお答えください。複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合は「5. その他」を選択して、御社の状況を()内にご記入ください。

Q19～Q20 は研修制度に関する設問です。

Q19： 正社員が受講する研修を自らの意思で選択することが可能かどうかについて選択肢でお答えください。ここで想定している研修とは、社外研修も含まれます。該当する選択肢がない場合は「3. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

また、「1. できる（一部のみできるも含む）」を選択した場合は、その下の設問に進み、従業員が自ら受講する研修（含む社外研修）を選択される際の条件について選択肢でお答えください（1つ選択）。

Q20： 直近年度の正社員1人当たりの**年間の教育研修費用額**（正社員の年間教育研修費用総額÷正社員数）をご記入ください。

※小数点以下は切り捨て、整数値でお答えください

Q21 は人事制度・評価制度に関する設問です。

Q21： 社員の評価に反映されている項目について選択肢でお答えください。複数回答が可能です。該当する選択肢がない場合は「7. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

Q22 はハラスメント防止の取り組みに関する設問です。

Q22： パワーハラスメントなどのハラスメント防止および被害者保護のための取り組みについて選択肢でお答えください。

また、「1. 行っている」または「3. 検討中」を選択した場合は、選択肢下の記述欄に、具体的な取り組みの内容をご記入ください。検討中の場合は、検討されている具体的な内容をご記入ください。

Q23～Q24 は社会課題解決・社会貢献活動に関する設問です。

Q23： 事業を通じた社会課題解決や社会貢献の実践に対する社員の関与について選択肢でお答えください。該当する選択肢がない場合は「5. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

Q24： 社員が自らの専門知識やスキルを社会貢献に生かす「プロボノ」活動を支援する取り組みについて選択肢でお答えください。

また、「1. 行っている」または「3. 検討中」を選択した場合は、その下の設問に進み、具体的な社内の支援の仕組みについて選択肢でお答えください。複数回答可能です。該当する選択肢がない場合は「4. その他」を選択して、御社の状況を（ ）内にご記入ください。

★PDF 調査票についてご注意

ご回答は入力フォーム付きの PDF 調査票もご利用いただけます。昨年ご回答企業様などには、東洋経済サステナビリティフォーラムの「CSR File ダウンロードシステム」にご用意しております。「窓口ご担当情報」記入用紙にユーザー名 (ID)、パスワードを記載しておりますのでご確認ください。

こちらの CSR File ダウンロードシステムでは、過去 10 年分の『CSR 企業総覧』掲載ページ (自社のみ)、5 年分の CSR 企業ランキング報告書 (自社のみ)、格付一覧表 (全社分)、業種別集計表 (全体)、PDF 調査票 (自社のみ) などがダウンロードできます。ご回答企業向けのサービスの 1 つとなっております。

昨年ご回答いただいていない企業様でも「窓口ご担当情報」記入用紙や調査票に弊社が保有する情報が印字されている場合はユーザー名 (ID)、パスワードは準備しております。このユーザー名 (ID)、パスワードは昨年ご回答いただいた企業にのみご提供しておりますが、今回ご回答いただける場合に限り、特別にお知らせすることも可能でございます。ご希望の場合はお問い合わせ先に記載しておりますメールアドレスまでご連絡ください。

初回ご回答用ファイルはどなたでもご覧いただける Web にご用意しております。

■初回ご回答用 PDF ファイルについて

初回ご回答用ファイルは Web にご用意しております。

1. 雇用・人材活用編 (フォーム付き PDF ファイル)
ファイル名: **QCSR1_2020.pdf**
2. CSR 全般・社会貢献・内部統制等編 (フォーム付き PDF ファイル)
ファイル名: **QCSR2_2020.pdf**
3. 環境編 (フォーム付き PDF ファイル)
ファイル名: **QCSR3_2020.pdf**
4. 基礎調査 (フォーム付き PDF ファイル)
ファイル名: **QCSR4_2020.pdf**
5. 窓口ご担当情報 (フォーム付き PDF ファイル)
ファイル名: **QCSR5_2020.pdf**
6. 特別調査情報 (フォーム付き PDF ファイル)
ファイル名: **QCSR6_2020.pdf**

昨年ご回答いただいた企業様用のファイルはそれぞれのコードをつけた PDF ファイルを上記「CSR File ダウンロードシステム」からダウンロードできます。

■ご回答の流れ(今回、初めてご回答される企業様)

1. 上記のうち、基礎調査を除く 5 つの PDF ファイルを一度ローカルに保存してください。
2. 該当項目をご入力ください。
選択式の項目は数字などを選ぶコンボボックスになっております。
入力時は「100%表示」にすると見やすくなります。
3. 入力内容に間違いがないかご確認ください。
⇒印刷時の注意点は下記 (PDF 表示・印刷について) をご覧ください。
4. 5 つの PDF ファイルをまとめて電子メールでご返送ください。
メールアドレスは「調査のお願い」に記載しております。
※パスワード設定した zip ファイルなどで返送される場合は、別メールまたはお電話でパスワードを

ご連絡ください

■ご回答の流れ(昨年、ご回答いただいている企業様)

1. 「CSR File ダウンロードシステム」にご用意しております昨年データセット済みの PDF ファイルをご利用ください。
2. 5つの PDF ファイルを一度ローカルに保存してください。
3. フォームにご入力、またはセットしておりますデータをご修正ください。
入力時は「**100%表示**」にすると見やすくなります。
4. 入力内容にお間違いがないかご確認ください。
⇒印刷時の注意点は下記(PDF表示・印刷について)をご覧ください。
5. 5つの PDF ファイルをまとめて電子メールでご返送ください。
メールアドレスは「調査のお願い」に記載しております。
※パスワード設定した zip ファイルなどで返送される場合は、別メールまたはお電話でパスワードをご連絡ください

■PDF 表示・印刷について

- PC でご覧になる場合は、「**全体表示**」または「**100%表示**」が見やすいと思われます。
- 印刷される場合はできるだけ A3 に設定してください。

■ご注意

1. 文字数制限の項目は多少余裕を持たせておりますが、できるだけ制限文字数内でご回答ください。
2. 文字数制限をかけていない項目も画面で表示される範囲でご回答ください。
3. 入力フォーム上の**カタカナは全角**で入力してください。
英文・数字は半角全角どちらでも結構です。
4. フォームに入りきらない文章を別の添付ファイルなどにするご遠慮ください。
5. ご回答いただいた PDF 調査票ファイルは電子メールに添付してご返送ください。
(紙に印刷しての郵送、FAX でのご返送はご遠慮ください)
6. PDF ファイルに特殊な処理(独自のセキュリティをかけるなど)を行わないでください。

■環境

- 入力には Adobe Acrobat Reader (無償版) が必要です。
- Adobe Acrobat Reader は最新版をご利用ください。
- 入力環境のチェックなどは Adobe Acrobat ReaderDC で行っております。

※お問い合わせは、「調査のお願い」、「調査票」に記載しております担当者までお願いいたします